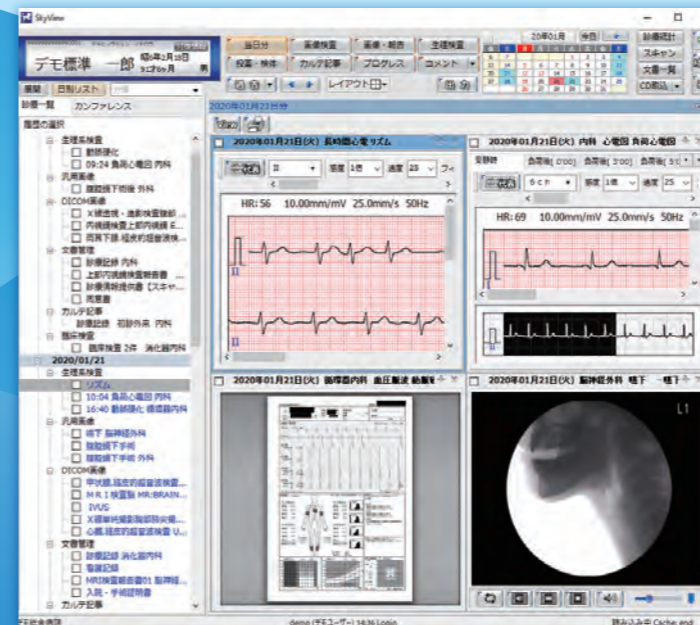


1つのシステム・1つのデータベースに、 全診療データと診療部門システムを統合し一元的に管理

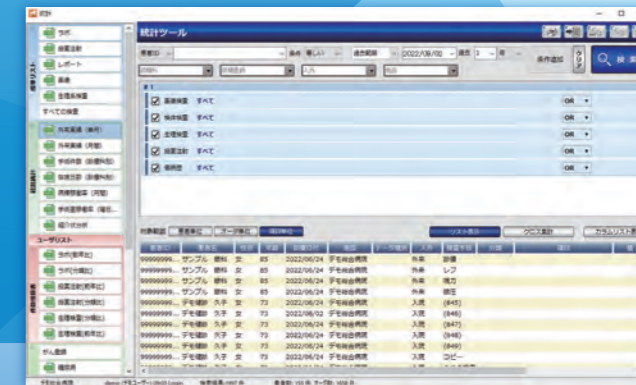


各部門データを時系列で統合表示

ビューアでDICOM 画像の表示



患者情報を一日単位で表示し、各種波形データにも対応



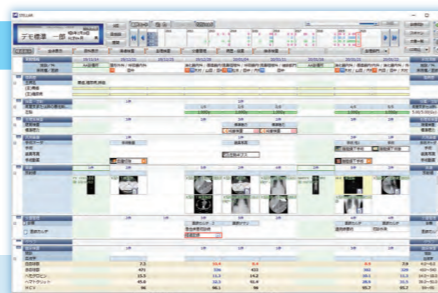
統計機能で患者情報を集計表示

STELLAR(ステラ)はリンクではなく診療情報を保有し一元的に管理ができる統合システムです。院内各部門の画像・数値・所見データだけではなく電子カルテのデータ含めて統合することで、部門システムをその都度開くことなく診療情報が一画面で閲覧可能になります。またデータの連携性が得られデータ統計や紹介状作成・メディア作成、チーム医療への応用ができます。

STELLAR 自身で各部門システムを構築ができ、各部門の特殊性を保ちつつ、同一の操作性で診療データを統合できます。これにより院内に散らばる各部門システムは不要になり、1システムで電子カルテ情報も含む診療情報の一元化が可能です。

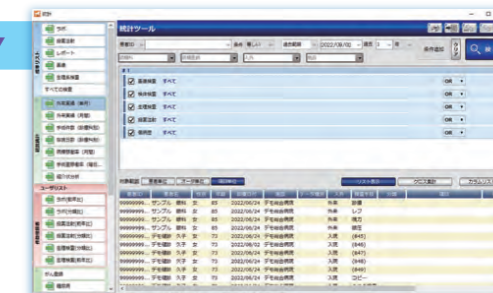
① 院内の全診療データを時系列で統合

STELLAR は電子カルテ含め、全診療データを1つのデータベースで統合します。これらは患者単位で時系列に統合され、ユーザは全診療データを1クリックかつ1画面で参照することができます。



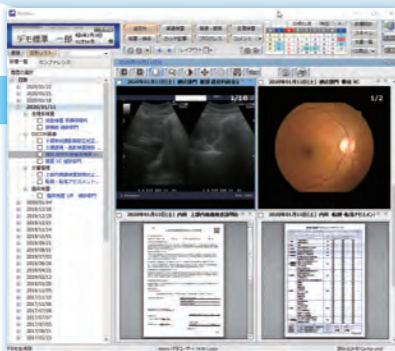
④ 統計機能で患者情報を集計

STELLAR に保存されたデータを元に統計が作成できます。投薬、注射、各検査数・検体の数値・レポートや画像データのコメントに至るまで統計の対象にできます。例えば、年間件数を月単位で表示する場合や、前年度と比較し分類構成比率を確認することができます。また、クロス集計で項目別に月別件数の集計表示もできます。



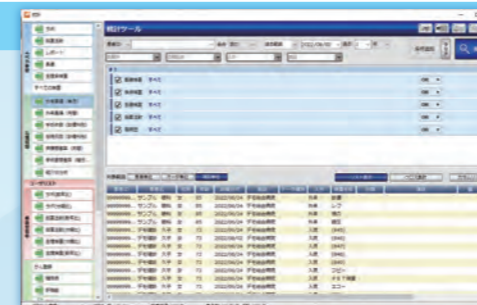
② STELLAR でビューアや文章管理機能を統一

院内には画像システムだけでも多数存在し操作性や保存先もバラバラで1つの画面では参照が行えません。STELLARがあれば部門システムに依存せず操作性を統一し1つのビューアでデータ参照が実現できます。文章管理機能も同様に一元的に記載・管理ができます。



⑤ DWH 機能も実現

医事も含めたデータを検索・抽出し経営分析資料の作成ができます。経営分析情報の例として外来実績、平均在院日数、手術室稼働率、診療科別手術件数、病棟稼働率など多様な統計を実現します。



③ 部門問わず全診療データを紹介CDへ出力

紹介CDは部門を問わずSTELLARから直感的に選択したデータを一元的にSS-MIX2形式でCDに出力できます。紹介先ではDICOM画像の取り込みだけではなく、CDに簡易STELLARが同封させてるのでSTELLARが無くても全てのデータが閲覧できます。他院CD取り込みの際にはSTELLARの時系列に統合して表示もできます。

